



SOBA mieruka ユーザマニュアル

Copyright © 2006-2008 SOBA Project, Inc. All Rights Reserved.

(2008/06/28 Ver.2.0)

目 次

1.	はじめに	2
	SOBA mierukaとは	2
	セッションとは	2
	グループ／チームとは	2
	主な特長	2
	ビジュアルコミュニケーションツールの機能紹介	3
	動作・推奨環境	4
2.	SOBA mierukaクライアントのインストール	5
	SOBA mierukaクライアントの新規インストール	5
	SOBA mierukaクライアントをアップデートする(随時)	6
3.	ログイン	7
	ログインする	7
	会員トップページ 各部の名称	7
4.	セッションの作成	8
	セッションを作成する	8
5.	セッションへの参加	9
	セッション一覧から他のセッションに参加する	9
6.	セッションウィンドウ画面の見方	10
	セッションウィンドウ 各部の名称	10
	タイトルバーの構成	11
	コントロールバーの構成	11
	アプリケーションを終了する	12
7.	各種設定	13
	WEBカメラの設定方法	13
	スピーカの設定方法	14
	マイクの設定方法	15
	参考情報: 設定ツールの設定	16
8.	ツール(部品アプリケーション)の操作方法	17
	ツールウィンドウの見方	17
	メンバー一覧(ビデオ会議)	18
	お絵かきツール(ホワイトボード)	22
	チャットツール	27
	インターネットツール(WEBブラウザの共有)	30
	デスクトップ共有ツール	32
	ファイル転送ツール	37
	エディターツール	41
9.	ログアウト	43
10.	その他	43
	ユーザ登録情報の変更	43
	ログイン名・パスワードを忘れたとき	44
	SOBA mierukaクライアントの起動と終了について	44

1. はじめに

SOBA mierukaとは

「SOBA mieruka(ソーバ・ミエルカ)」は、DVD 画質並みの高品質な映像配信やデスクトップ共有機能を中心としたビジュアルコミュニケーション機能と高度なセキュリティ機能を兼ね備えた、先進の WEB 会議システムです。多数の SOBA mieruka 特有の機能を標準装備しながら、月額定額料金で無制限に利用できるのも、“安心して使える”コミュニケーション／情報共有ツールです。

セッションとは

“セッション”とは、SOBA mieruka 上で作成されるネットワーク上の共有空間のことを指します。

なお、当マニュアルでは、セッションの作成者(主催者)のことを“マスター”、セッションに参加しているユーザーのことを“メンバー”、またホワイトボードやデスクトップ共有など、セッションで共有するアプリケーションのことを“ツール”と呼んでいます。

グループ／チームとは

“グループ”とは、各ユーザが企業・組織毎に所属する単位で、SOBA mieruka のユーザは必ずひとつのグループに所属します。グループの管理者は、メンバー管理やネットワークの設定、セッション(ネットワーク上の共有空間)の利用状況の利用履歴の閲覧などを行うことができます。

一方、“チーム”とは、異なるグループに所属するユーザ同士が、グループの垣根を越えて任意に結成する単位です。異なる組織の SOBA mieruka ユーザであるカスタマー・クライアント・パートナー等とチームを結成して、情報のやりとりが可能になります。

主な特長

■ビジュアルコミュニケーションに必要な機能を標準装備

- ◆ビデオ会議システム ◆テキストチャット ◆ホワイトボード
- ◆WEB ブラウザ ◆デスクトップ共有 ◆ファイル転送 ◆リッチテキストエディター

■P2P型／クライアントアプリ方式ならではの柔軟性・多様性

- ◆低帯域環境での利用、コスト削減が可能： 直接相手と通信を確立しホスト間で送受信する P2P 型なので、通信帯域の負荷が少なく、通信が高速で快適。また、専用サーバ不要・通信費削減により低コストでの導入／運用を実現しました。
- ◆複数会議の同時開催・参加が可能： 帯域と PC 性能の許す限り、接続数の制限がなく、しかも複数会議の同時開催・参加ができます。
- ◆映像・音声選択機能： 特定のメンバーの映像だけ見る／音声だけ聞くなど利用状況に合わせた使い方が可能です。

■強固なセキュリティ機能も標準装備

- ◆エンドツーエンド(端末間)でクライアント同士による SSL 暗号化通信
- ◆鍵長 256 ビットの暗号化
- ◆定期的な暗号鍵交換
- ◆LAN 内通信機能： LAN 内や VPN 内ではピア同士で通信できるため、ファイアウォールなどインターネット接続部分を介さずに内部での通信が可能です。
- ◆サーバ選択機能： ネットワーク環境に複数のプロキシサーバやファイアウォールがある場合、どのサーバを使用するかを選択する“プロキシ・中継選択機能”を装備し、通信帯域の負荷の軽減とセキュリティの確保の両方を実現します。

※個々の端末側でのプロキシサーバ選択も可能です。プロキシ認証にも対応しています。

■複数のカメラデバイス・高解像度カメラに対応

- ◆複数のカメラデバイスの同時利用も可能
(USB カメラ・ビデオキャプチャカード・DV カメラなど)
- ◆2Mbps を越える高解像度データの送信にも対応

■高度な管理機能

- ◆グループ機能とチーム機能
- ◆ログ出力機能: グループ管理者は WEB 会議の利用状況(開催時間・参加ユーザ)のデータを取得できます。

ビジュアルコミュニケーションツールの機能紹介

◆ビデオ会議システム



ウェブカメラとマイクを使用すれば、リアルタイムの映像・音声で、双方向のビジュアルコミュニケーションが実現します。

参加メンバーの映像は任意のサイズに切り替えられます。

DV カメラを使った高画質な映像配信も可能です。

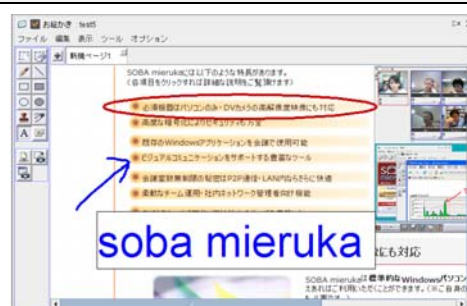
◆テキストチャット

一般的なテキストチャットで、チャットの入力毎に、文字の装飾が可能で、絵文字も使用できます。チャットのログを保存することもできます。



◆ホワイトボード

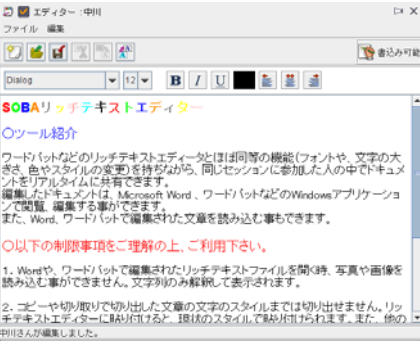
自由にお絵かきができるドローツールです。画面キャプチャ(データ取り込み)機能も搭載しているので、会議資料をキャプチャしてホワイトボード上に表示させ、そのデータを共有しながら参加メンバーで自由に線を描いたり、文字の書き込みを行うこともできます。キャンパスに書き込んだ描画・テキストは画像データとして保存できます。



◆WEB ブラウザの共有

メンバーで共有することができるウェブブラウザです。同じページを閲覧することができ、誰かがリンクをクリックすると全員が同じページへ移動します。見せたいウェブサイトを分かりやすく示すことができます。



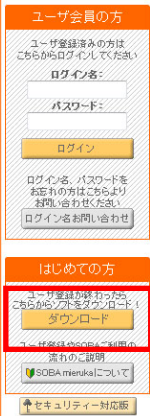
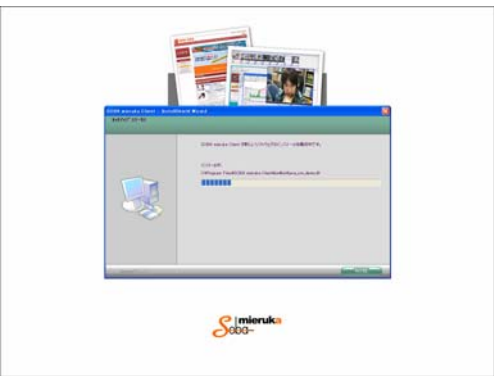
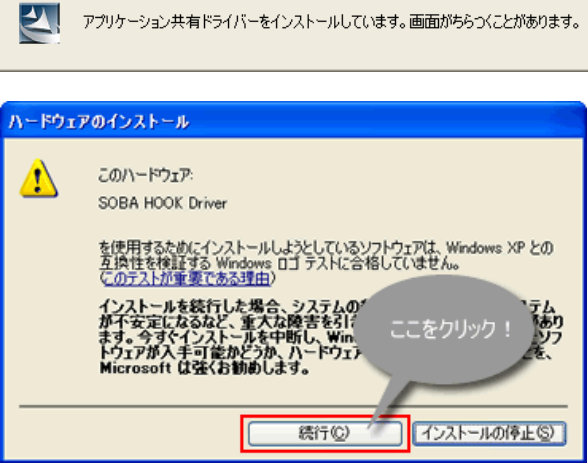
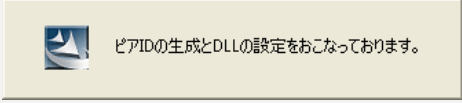
◆デスクトップの共有 デスクトップを共有することができるツールです。 デスクトップ全体ではなく、Word・Excel・PowerPoint 等 Windows® で起動するアプリケーションを個別に共有することも可能です。会議において、議事進行に合わせ資料作成・編集などもスムーズに行うことができ、物理的に同じ場所にいなくても、まるでデスクを共有しているかのようなコミュニケーションが可能です。	
◆ファイル転送 会議で使用する資料や会議時にメンバーで共同編集した資料に参加メンバーに配布することができます。ファイルは複数選択し送信することができます。	
◆リッチテキストエディター メンバーで共有することができるエディターです。 チャットと異なり文字を記入後にも削除・編集することができ、保存したドキュメントは Word やワードパッドなどのアプリケーションでも開く事ができます。 また既存のリッチテキストファイルも読み込むことが可能です。	

動作・推奨環境

	動作環境	推奨環境
対応 OS	Windows 2000 SP4/ XP SP2 以降 / Vista	
CPU	Celeron700Mhz (Vista)Pentium3 1GHz 以上	Pentium4 1.4GHz 以上
メモリ	256MB 以上 (Vista)512MB 以上	512MB 以上 (Vista)1G 以上
ハードディスク容量	120MB 以上	200MB 以上
ネットワーク環境	ADSL・光回線接続環境	
	上り・下り 500Kbps 以上(実測値)	上り・下り 2Mbps 以上(実測値)
必須環境	JRE v1.6.0_06、DirectX 9.0 以降	
ブラウザ	Internet Explorer バージョン 6.0 SP1 以上、 Mozilla Firefox バージョン 2.0 以上 Opera バージョン 9.0 以上	
周辺機器	PC、USB カメラ・DV カメラ、ヘッドセットまたはスピーカーとマイク(ノイズキャンセラー付又はエコーキャンセラー付を推奨)	
その他	DV カメラを接続する場合は、CPU:Pentium 4(3.0GHz)相当以上、メモリ:1GB 以上、ネットワーク環境:上り・下り 10Mbps 以上(実測値)を推奨、また PC / DV カメラのポート / ビデオ入力端子に、IEEE1394(FireWire・i-Link)、S 端子のいずれかが必要になります。 ※DV カメラは HD 方式には対応しておりません。	

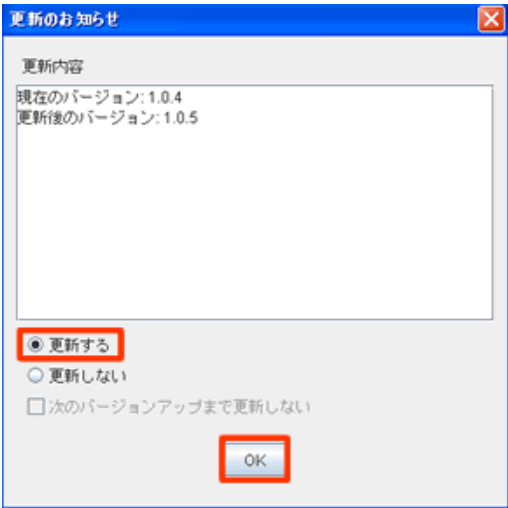
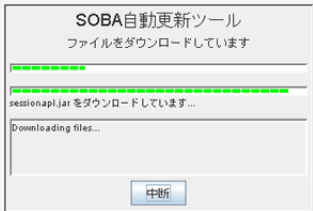
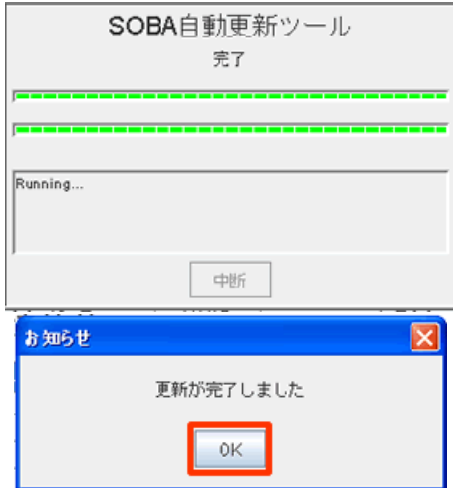
2. SOBA mierukaクライアントのインストール

SOBA mierukaクライアントの新規インストール

	SOBA mieruka クライアント(接続ソフト)のダウンロードは、ユーザ登録完了画面からでも、ログインページ左の[ダウンロード]ボタンからでも行うことができます。 ダウンロードボタンをクリックすると、SOBA mieruka Setup のための実行ファイルがダウンロードされますので、そのアイコンをダブルクリックします。
	インストーラーを起動すると、全画面表示になります。 初めにインストールフォルダを指定します。 ※通常はデフォルトのままで問題ありませんので、分からない場合はそのまま結構です。 [次へ]をクリックします。
	インストールが始まります。
	左図のような確認メッセージが出ます。 これはデスクトップ共有を利用するために使う仮想ドライバのインストールの確認をおこなうダイアログです。このまま[続行]をクリックし、インストールを継続して下さい。画面がチラつくことがありますが、故障でもトラブルでもありませんので、安心してこのまましばらくお待ち下さい。 

	この画面が表示されたら、SOBA mieruka クライアントソフトのインストールは終了です。 [完了]をクリックし、ここで再起動を求められたら必ず Windows の再起動を行ってください。
---	---

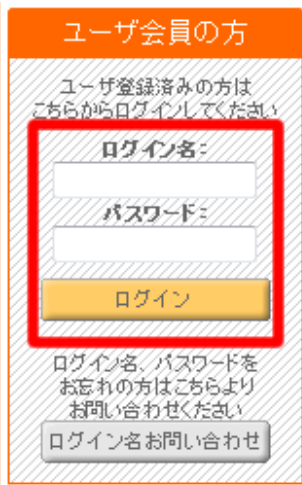
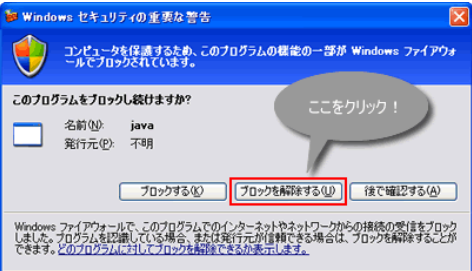
SOBA mierukaクライアントをアップデートする(随時)

	SOBA mieruka クライアントは、不具合の修正や機能向上などにより、随時バージョンアップされています。SOBA mieruka ログイン後クライアントが起動するとき、自動アップデートツールが起動し左図のような「更新のお知らせ」が表示されることがあります。SOBA mieruka の機能を十分お使いいただくためにも、その都度更新していただくことをおすすめいたします。 [更新する]にチェックを入れ、[OK]をクリックしましょう。更新されるファイルのダウンロードとインストールが始まります。 
	アップデートが完了しました。 左図のような更新完了のお知らせが表示されるので、[OK]をクリックし、これでアップデートは終了です。 ※アップデートに時間がかかる、もしくはアップデートに失敗した場合は、インストーラーをダウンロードして更新インストールする事も可能です。

3. ログイン

ログインする

ユーザ登録と SOBA mieruka クライアントのインストールが終了したら、ログインすることができます。

	SOBA mieruka のトップページ左端メニューから、あなたのログイン名とパスワードを正しく入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。 会員トップページの画面が表示されたら、ログインは成功です。
	※左のダイアログは、Windows のファイアウォールを有効にされていると表示される場合があります。 もし、表示された場合は、SOBA mieruka で利用する JAVA を有効にするためのものですので、[ブロックを解除する]をクリックしてください。

会員トップページ 各部の名称

ログインすると最初に表示されるあなた専用のページです。

SOBA mieruka に関する様々なお知らせや、受信・送信メッセージ、セッション参加履歴等が表示されます。

また、左端メニューからセッションの作成、アドレス帳の作成、登録情報の変更等ができます。

	① セッションメニュー セッションの作成・参加・アドレス帳の作成など、こちらのメニューボタンから行います。 ② お知らせ SOBA mieruka からのメンテナンス情報等のお知らせを掲示します。[全て見る→]で過去のお知らせが全て表示されます。 ③ 受信メッセージ アドレス帳への追加許可依頼等に対する他のユーザからの返信メッセージがある場合に表示されます。 ④ 送信メッセージ アドレス帳への追加許可依頼等他のユーザへ送ったメッセージを表示します。 ⑤ セッション予定 (現在使用していません。) ⑥ セッション参加履歴 今までに参加したセッションの一覧が表示されます。
---	---

4. セッションの作成

セッションを作成する

まず、セッションメニューから①[セッション作成]ボタンをクリックし、セッション作成画面に切り替えます。

セッション作成

①

セッション名

トピックス

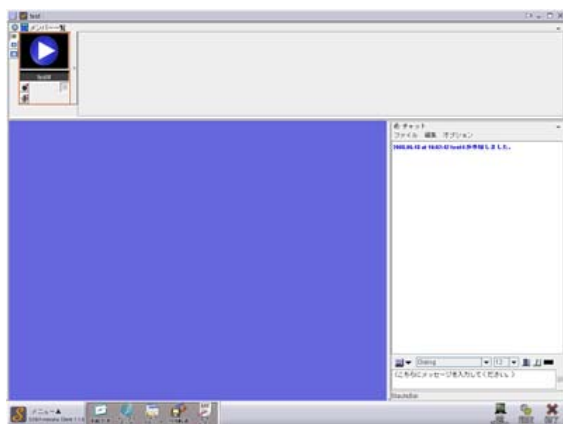
②

セッション作成

③

②「セッション名」と「トピックス」を入力(必須)します。カテゴリ選択を設定(任意)して最後に③[セッション作成]ボタンをクリックします。

※カテゴリは何も選択せずにセッション作成を行った場合は<カテゴリ無し>で登録されます。



SOBAを起動中です。
しばらくお待ち下さい。

starting Directory Service

Soba miruka NOW

High Quality Video Conference System

SOBA miruka Client 1.1.0 <http://miruka.soba-project.com/>

起動中はこのような表示が出ますので、しばらくお待ちください。

左図のようにセッションウィンドウが立ち上がれば、セッションは作成されました。

※他のメンバーがセッションに参加すると、Windows タスクバー上のセッションタイトルバーがオレンジ色に点滅し、入室したことがわかります。

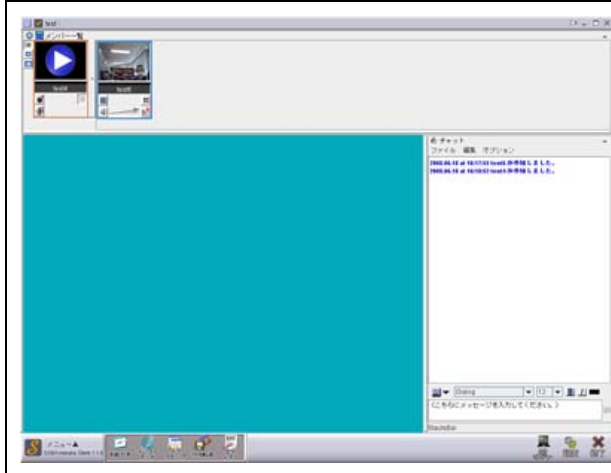
スタート 株式会社SOBAプロジェクト

5. セッションへの参加

セッション一覧から他のセッションに参加する



左端メニュー[セッション一覧]をクリックすると、現在開催中のセッションの一覧が表示されます。参加したいセッションがあれば、**参加** ボタンをクリックし、参加することができます。

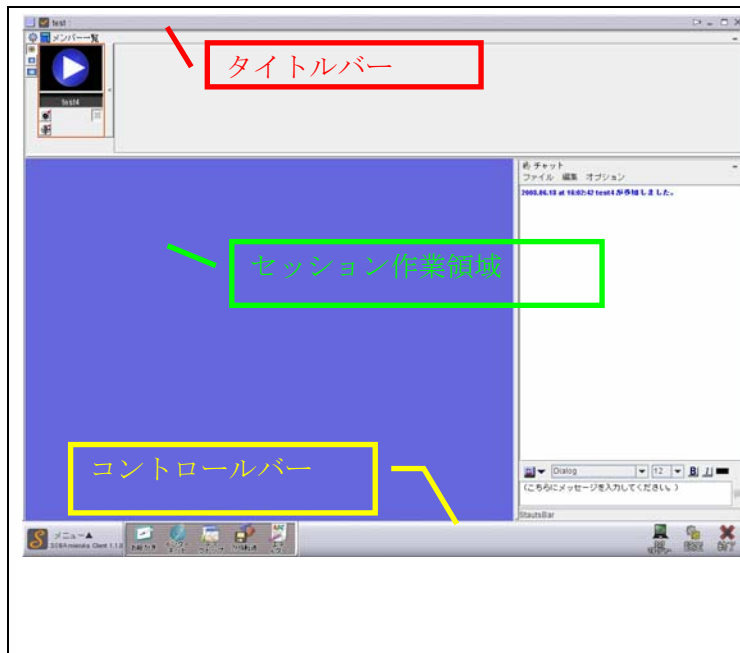


セッションに参加すると、左のような画面が表示されます。

6. セッションウィンドウ画面の見方

セッションウィンドウ 各部の名称

セッションウィンドウは、「タイトルバー」「セッション作業領域」「コントロールバー」と大きく3つの部分に分かれます。



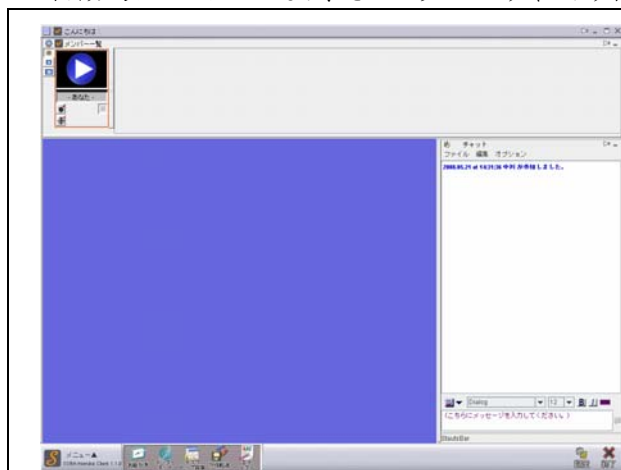
「タイトルバー」には、セッションのタイトル名およびコントロールボタンが配置されています。

「セッション作業領域」には、上に「メンバー一覧」、右下に「チャット」が表示されます。残りのスペースには「お絵かき」「インターネット」「デスクトップ共有」「ファイル転送」「エディター」が表示されます。

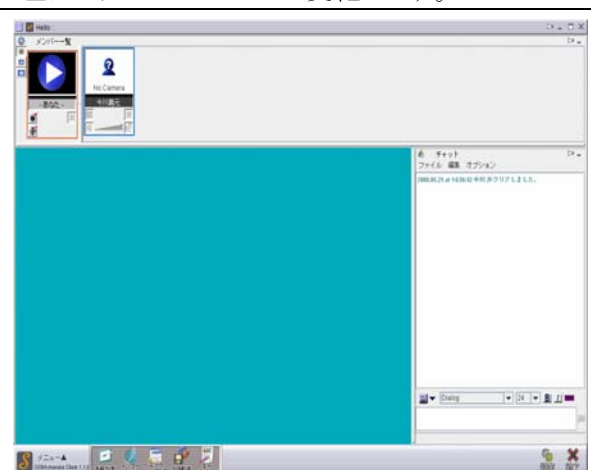
「コントロールバー」には、ツールアイコン（投入開始ボタン）やアプリケーション終了ボタンなどのユーザインターフェイスが配置されています。

セッションウィンドウはリサイズ（表示サイズの変更）が可能です。ウィンドウの上下左右それぞれどの辺・角からでも、ドラッグしてウィンドウサイズを自由に変更することができます。また、タイトルバーをドラッグして、画面上好きな場所に移動することができます。

セッション作業領域の背景の色は、セッションを作成したマスター（背景色：ブルー）と参加したメンバー（背景色：グリーン）とで異なります。なお、セッションマスターがアプリケーションを終了すると、他のメンバーのひとりが自動的にマスターとなり、そのセッションウィンドウ画面の色はグリーン⇒ブルーに変化します。



〔セッションマスターの画面：ブルー〕



〔メンバーの画面：グリーン〕

タイトルバーの構成

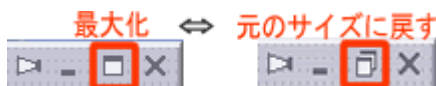


①「セッションタイトル」 セッション作成画面で入力した「セッション名」が表示されます。

②[注目]ボタン このボタンをクリックすると、あなた自身を含めたセッションの全メンバーの画面上で、セッションのタイトルバーが点滅します。

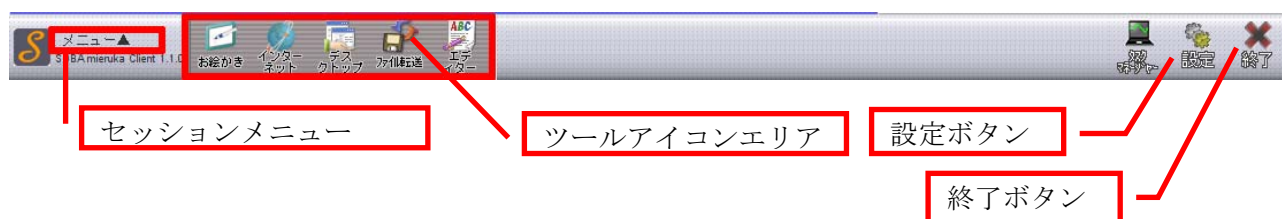
③[最小化]ボタン セッションウィンドウの表示を最小化します。最小化すると、セッションウィンドウはWindows タスクバーに隠れます。元に戻すには、Windows タスクバーで、そのセッションウィンドウのタスクボタンをクリックします。

④[最大化]ボタン セッションウィンドウの表示を最大化します。最大化すると、セッションウィンドウはWindows デスクトップの全画面に広がります。元に戻すには、[最大化]ボタンの代わりにタイトルバーに表示される、[元のサイズに戻す]ボタンをクリックします。



⑤[終了]ボタン セッションから脱退します。

コントロールバーの構成



①[セッションメニュー]コントロールバーの[メニュー▲]と表示された部分をクリックすると[セッションメニュー]が表示されます。ここでは、[オンラインマニュアル]と Windows のシステム情報を表示させる[システム情報]、タスクマネージャーを起動させる[タスクマネージャー]そしてタイトルバーが持つ[最小化][最大化] (最大化されている場合は元のサイズに戻す)機能、[設定][終了]の機能が実行できるようになっています。

②[ツールアイコンエリア]「お絵かき」「インターネット」「デスクトップ」「ファイル転送」「エディター」の 5 つのツールアイコンが並びます。それぞれのアイコンをクリックするとツールが立ち上がります。既に立ち上がっている場合は、各ツールのアイコンをクリックすることで、そのツールが最前面に表示されます。

③[タスクマネージャー]ボタン Windows のタスクマネージャーが表示されます。現在の CPU 負荷などをご覧になる時に利用して下さい。

④[設定]ボタン SOBA 設定ツールウィンドウが表示され、ネットワーク設定や使用するカメラ・マイクの設定などを行います。

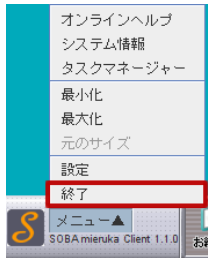
⑤[終了]ボタン セッションから脱退します。

アプリケーションを終了する

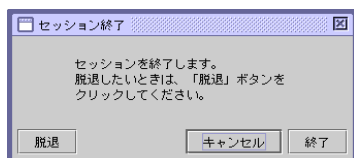
アプリケーションの終了には、以下①～③3つのいずれかで行います。

<終了> セッション自体を消滅させる(マスター権限)

<脱退> あなたがセッションを抜けるだけでセッション自体は消えず、他のメンバーでセッションを継続する(マスター・メンバー)

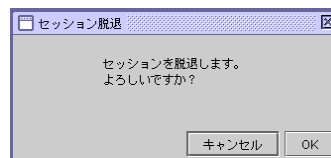
①「コントロールバー」のメニューから[終了]を選択 	②「コントロールバー」右端の[終了]ボタンをクリック 	③「タイトルバー」の[終了]ボタンをクリック 
--	---	---

〔セッションマスター画面：セッション「終了」か「脱退」の確認ダイアログ〕



マスターの場合、「終了」または「脱退」するかを確認するダイアログが表示されます。セッション自体を終了する場合は[終了]を、あなたがセッションを抜けるだけの場合は[脱退]をクリックします。なお、マスターが脱退すると、他のメンバーのひとりが自動的にマスターとなり、残りのメンバーでセッションを継続します。

〔セッションメンバー画面：セッション「脱退」の確認ダイアログ〕



メンバーの場合、セッションマスターとは異なり「脱退」のみを確認するダイアログが表示されます。あなたがセッションを抜ける場合は[OK]をクリックします。

7. 各種設定

WEBカメラの設定方法

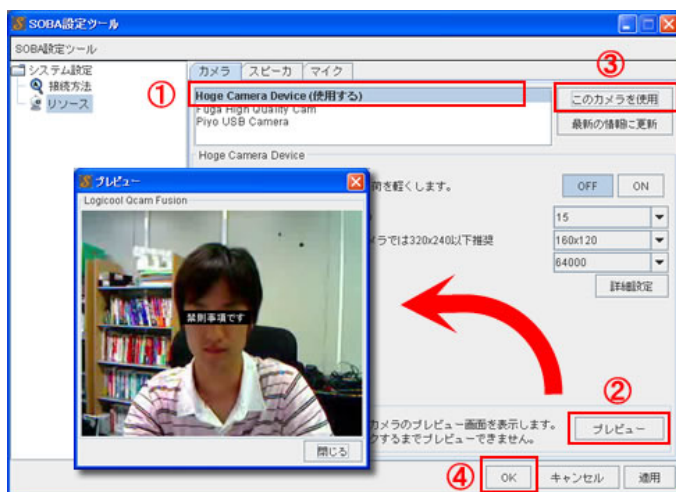
まずは、お持ちのウェブカメラのマニュアルに従い、カメラのドライバーを正しく導入します。

カメラは必ず SOBA mieruka にログインする前に接続しましょう。ドライバーの導入が終わりましたら、以下のとおり設定を行いましょう。



まずは、セッションへ参加（あるいは作成）して、セッションウィンドウを開き、右下の[設定]ボタンをクリックします。

もしくはスタートメニューから[すべてのプログラム]→[SOBA mieruka]→[SOBA 設定ツール]をクリックします。



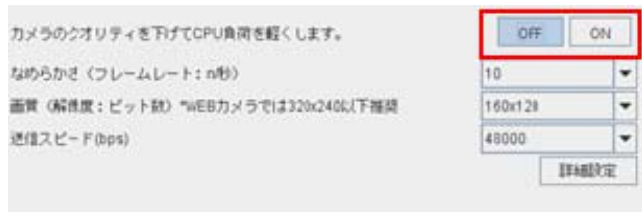
SOBA 設定ツールウィンドウが表示されたら、画面左のツリー表示から、リソースを選択して、カメラタブを表示します。

① 使用したいカメラデバイスを選択します。

② [プレビュー]ボタンを押して(1)で選択したカメラが正しく動作していることを確認します。

③ 正しくカメラが動作していることが確認できたら[このカメラを使用]を選択します。正しく表示できない、意図したカメラではない場合は①に戻って別のカメラデバイスを試します。

④ すべて設定が完了したら[OK]を選択し、設定を終了します。



カメラのクオリティを下げてもCPU負荷を軽くします。

mieruka を利用していて、PC が重いなどと感じられたり、映像の遅延等がある場合にこの設定を行います。ON にすると配信する映像は多少荒くなりますが、テレビ会議をよりスムーズに行える場合があります。

フレームレートは映像のなめらかさを表します。

解像度は映像の画質をあらわします。

それぞれ、カメラのデバイスの持つ性能によって変化します。

送信スピードは、セッション参加メンバーに送るデータの転送量を表します。

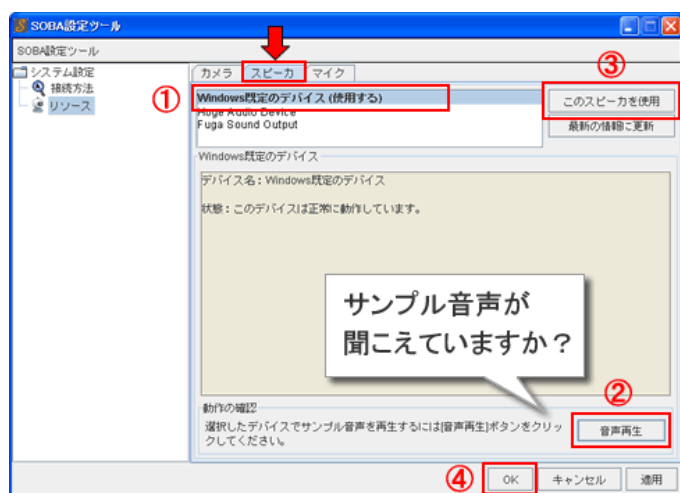
スピーカの設定方法

まずは、お持ちのヘッドセットを PC に正しく接続しましょう。USB タイプをご使用の場合、あらかじめヘッドセットのマニュアルに従いドライバーをインストールするなどして、使用可能な状態にします。ヘッドセットは必ず SOBA mieruka にログインする前に PC に接続し、以下のとおり設定を行いましょう。



まずは、セッションへ参加(あるいは作成)して、セッションウィンドウを開き、右下の[設定]ボタンをクリックします。

もしくはスタートメニューから[すべてのプログラム]→[SOBA mieruka]→[SOBA 設定ツール]をクリックします。



SOBA 設定ツールウィンドウが表示されたら、画面左のツリー表示から、リソースを選択します。タブを[スピーカ]に切り替えてください。

① 使用したい音声再生デバイスを選択します。

② [音声再生]ボタンを押すとサンプル音声再生されます。音声がか聞こえることを確認してください。

③ 正しく音声がか再生されていることが確認できたら[このスピーカを使用]を選択します。正しく再生できない、意図しない所から音声がか流れているような場合は①に戻って別の音声再生デバイスを試します。

④ すべて設定が完了したら[OK]を選択し、設定を終了します。

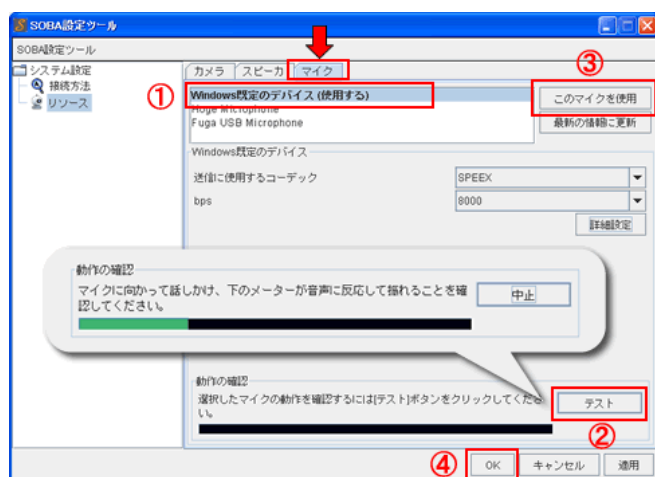
マイクの設定方法

まずは、お持ちのヘッドセットを PC に正しく接続しましょう。USB タイプをご使用の場合、あらかじめヘッドセットのマニュアルに従いドライバをインストールするなどして、使用可能な状態にします。ヘッドセットは必ず **SOBA mieruka** にログインする前に PC に接続し、以下のとおり設定を行きましょう。



まずは、セッションへ参加(あるいは作成)して、セッションウィンドウを開き、右下の[設定]ボタンをクリックします。

もしくはスタートメニューから[すべてのプログラム]
→[SOBA mieruka]→[SOBA 設定ツール]をクリック
します。



SOBA 設定ツールウィンドウが表示されたら、画面左のツリー表示から、リソースを選択します。タブを[マイク]に切り替えてください。

① 使用したいマイクデバイスを選択します。

② [テスト]ボタンを押すと動作確認用ウィンドウが表示されます。実際にマイクに向かって話しかけ、バーが反応していることを確認してください。

③ 正しく音声を検出されていることが確認できたら[このマイクを使用]を選択します。正しくバーが反応しない(音声を検出されていない)ような場合は(1)に戻って別のマイクデバイスを試します。

④ すべての設定が完了したら[OK]を選択し、設定を終了します

参考情報:設定ツールの設定

SOBA 設定ツールで、送信するカメラ画像・マイク音声の詳細設定をご自身で行っていただくことも可能ですので、下記を参考にしてください。

但し、**多人数でのセッションやネットワーク回線が不安定な状況で、フレームレートや画像サイズ、送信スピードなどを高く設定していると、音声のとぎれたりして不安定な状況になりますので、設定を下げるなどして適切な状態でご利用ください。**

カメラ画像送信

設定項目	項目の説明や設定のポイントなど
送信に使用するコーデック MPEG4 / MJPEG	映像データの圧縮方式／記録方式のひとつ。MPEG4 が綺麗です。
フレームレート(n/秒) 設定値例) 5 / 10 / 15 / 20 / 25 / 30	1 秒間に送信される画像の枚数(秒間コマ数)のことで、高く設定するほど、画面表示はなめらかになります。
画像サイズ(ビット数) 設定値例) 160x120 / 176x144 / 320x240 / 352x288 / 640x480	画像サイズを上げると、解像度が高くなり、鮮明な画像を表示することができます。 ※但し、解像度を上げるとソフトウェアでエンコードしている為、CPU 負荷が高まります。
送信スピード(bps) 設定値例) 48000 / 64000 / 96000 / 128000 / 150000 / ... / 900000 / 1000000 / ... / 2000000	データ転送速度の単位。1Mbps = 1000Kbps = 1000000bps

※DV カメラを接続し高画質な映像を配信される場合、ネットワーク／CPU 負荷に注意し、設定を行ってください。

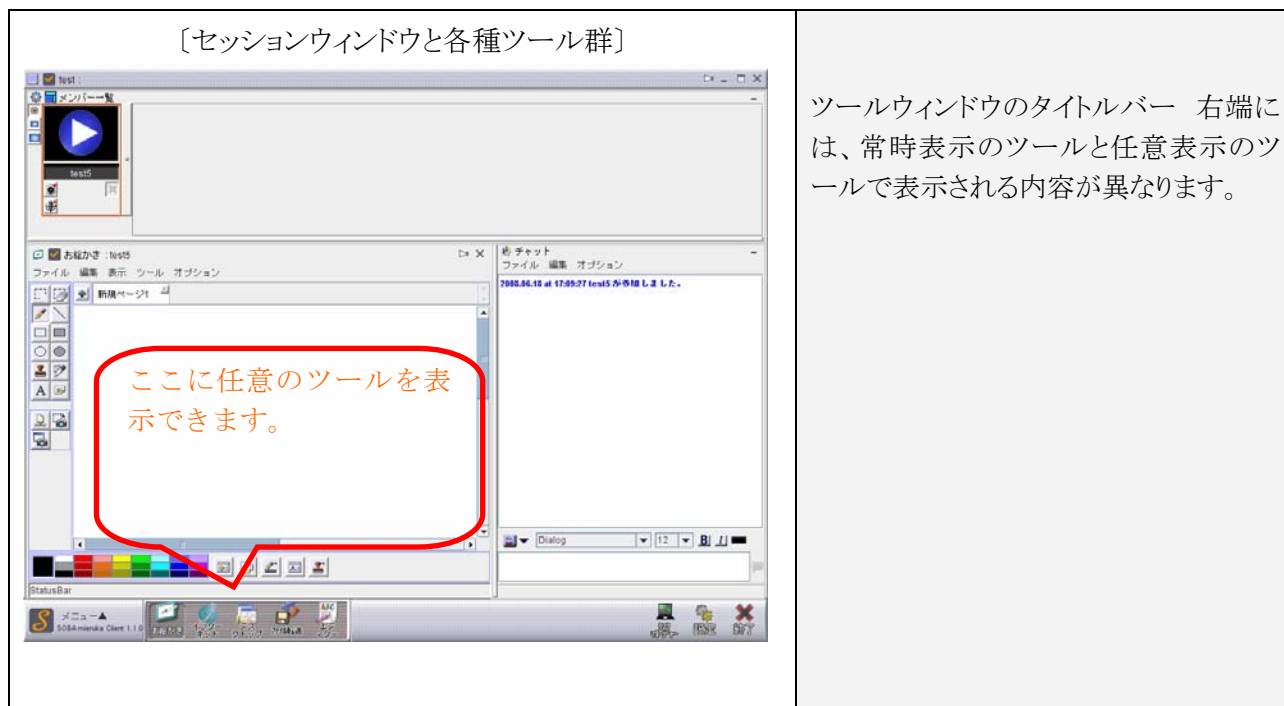
マイク音声送信

設定項目	項目の説明や設定のポイントなど
送信に使用するコーデック PCMU / SPEEX	デフォルト:SPEEX (PCMU はデータの転送量が増加します)
bps 64000	送信スピード(単位 bps) PCMU の場合は、64000 のみ。(SPEEX の場合、8000 / 11000 / 15000 / 18000 / 18200 / 24600 中から選択可)

8. ツール(部品アプリケーション)の操作方法

ツールウィンドウの見方

セッションで共有する部品アプリケーションのことを「ツール」と呼んでいます。下図のようにツールには、常時表示されている「メンバー一覧」「チャット」と任意に表示させる「お絵かき」「インターネット」「デスクトップ」「ファイル転送」「エディター」があります。ツールは、[ツールアイコンエリア]よりアイコンをクリックすることにより、セッションに投入し共有を開始できます。



常時表示ツール(メンバー一覧・チャット)に表示される機能

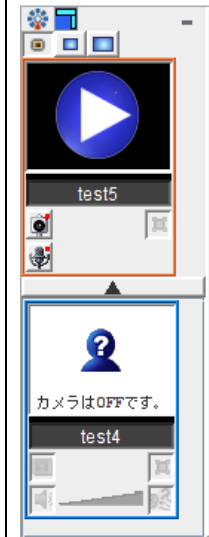
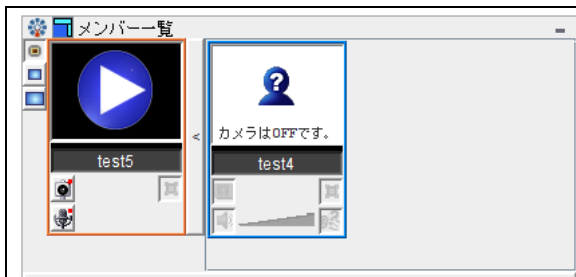
- ◆[最小化]ボタン 最小化するとセッション作業領域の端に細いバーとして表示されます。元に戻すには、[元のサイズに戻すボタン]をクリックします。

任意表示ツール(お絵かき・インターネット・デスクトップ・ファイル転送・エディター)に表示される機能

- ◆[注目]ボタン ボタンを押したツールがセッション参加の全メンバーの画面上で最前面に表示され、あなた自身を含めたセッションの全メンバーの画面上で、そのセッションのタイトルバーとツールウィンドウのタイトルバーの両方が点滅(濃紺色)します。
- ✕◆[終了]ボタン (任意表示のツールのみ) ツールウィンドウを閉じ、ツールの共有を終了します。

メンバー一覧(ビデオ会議)

(1)画面構成



あなたの映像 左側に赤枠で表示
(右脇に折りたたみバーあり)

他のメンバーの映像 青枠で参加メンバー
が順番に表示



再生ボタン クリックすると映像と音声を同時に配信します。



カメラボタン クリック毎に映像配信

ON 緑色⇔OFF 赤色

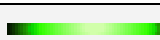


マイクボタン クリック毎に音声配信

ON 緑色⇔OFF 赤色



フローティングボタン 映像表示時のみ有効になります。
クリックするとカメラの映像をフローティング表示します。

 **音量インジケータ** 中央から広がる緑色の光の大きさで、音量を視覚的に表示します。

 **画面サイズ切り替えボタン** 順に、小・中・大 にカメラ画像の大きさを変更します。

 **きき耳ボタン** 特定のメンバーの音声のみ聞こえるようになります。その他のメンバーの音声は聞こえなくなります。

 **レイアウト変更ボタン** セッションウィンドウ内でのメンバー一覧の表示方法を変更します。クリックする度に縦・横にレイアウトを変更します。

(2)操作方法

a.映像と音声を配信・停止する  Point! なお、メンバーの音声が聞こえない場合、ご自身のPCのデバイスの音量が小さくなっていませんか？コントロールパネルの「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」で、デバイスの音量を確認しましょう。	セッションに入ると、あなたの映像と音声は、初期設定では映像停止・ミュート(消音)になっています。 映像と音声の配信を開始するには、[スタート]ボタンを押すか、①②の[カメラ]と[マイク]のボタンをクリックしてON(緑色)にします。どちらか片方だけの配信もできます。 同様に①②のあなたの[カメラ]と[マイク]のボタンをクリックして OFF にすると、映像と音声の配信を停止します。どちらか片方だけの停止もできます。 音量は、映像下の音量インジケータに緑色の光の拡がりで表示されます。 ※ON にしても映像・音声が配信されない時は、再度設定ツールを確認して下さい。
b. 映像サイズを切り替える 	① 自分自身と参加メンバーの映像サイズは、(順に)小／中／大の 3 段階に 切り替えられます。 さらに、拡大したい画像をダブルクリックもしくは、②[フローティング]ボタンをクリックすると、フローティング表示になって別ウィンドウが開くので、ドラッグして自由に移動・またフローティング表示させた画像の枠をドラッグして、表示サイズを拡大することができます。 再び画像をダブルクリック、もしくは[元に戻す]ボタンをクリックすると、フローティング表示は解除され、元の画面に戻ります。
c. フローティング表示時のタイトルバーの説明 拡大図   [常に手前に表示する]ボタン  [最大化]ボタン  [フローティング表示をやめる]ボタン	[常に手前に表示する]ボタンをクリックするとフローティングされた映像がどの Windows アプリよりも手前に表示されるようになります。常に手前に表示時は[常に手間に表示を解除]ボタンになります。 [最大化]ボタンをクリックするとそのユーザーの映像が全画面で表示されます。最大化表示時は[元に戻す]ボタンになります。 [フローティング表示をやめる]ボタンをクリックするとフローティング表示が解除されます。

d. 特定のメンバーの映像と音声を停止する 	あるメンバーの映像と音声の配信を停止するには、[カメラ]と[マイク]のボタンをクリックします。 ※停止中は×表示となり、映像はクリックした時点での停止画像のままになります。 再クリックすると解除され、配信を再開します。
e.特定のメンバーの音声だけ聞く 	①[きき耳をたてる]ボタンをクリックすると、そのメンバーの音声のみ聞こえるようになります ※画面枠の色が青→緑に変化 再クリックすると、きき耳を解除します。
d.メンバー一覧を縦表示にする 	メンバー一覧の表示を以下の方法で縦方向に変更することができます。 ① [レイアウト変更]ボタンをクリックする。 ② メンバー一覧のタイトルバーを縦方向にドラッグする。 ③ タイトルバーを右クリックして表示されるポップアップの[メンバー一覧を縦表示にする]をクリックする。 ※メンバー一覧の表示は次回 mieruka 起動時も記録されます。
	縦表示の場合、メンバー一覧を横に表示するには、 ① [レイアウト]ボタンをクリックする。 ② タイトルバーを横方向にドラッグする。 ③ タイトルバーを右クリックして表示されるポップアップの[メンバー一覧を横表示にする]をクリックする。 ※メンバー一覧の表示は次回 mieruka 起動時も記録されます。

e.ポップアップメニュー

メンバー一覧を縦表示にする ①

☐ メンバー一覧を固定する ②

☐ 起動時の自動再生を有効にする ③

タイトルバーを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

① [メンバー一覧を縦(横)表示にする]をクリックするとメンバー一覧のレイアウトを変更します。

② [メンバー一覧を固定する] にチェックを入れると、メンバー一覧のレイアウトを変更できなくなります。

③ [起動時の自動再生を有効にする] にチェックを入れると、SOBA mieruka 起動時にカメラとマイクを自動的に再生するようになります。

お絵かきツール(ホワイトボード)

(1)画面構成

メニューバー

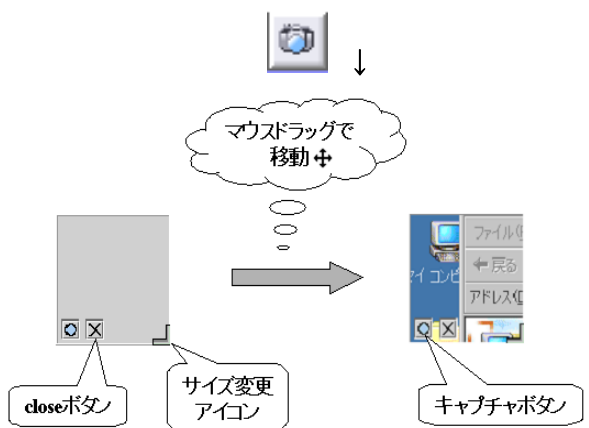
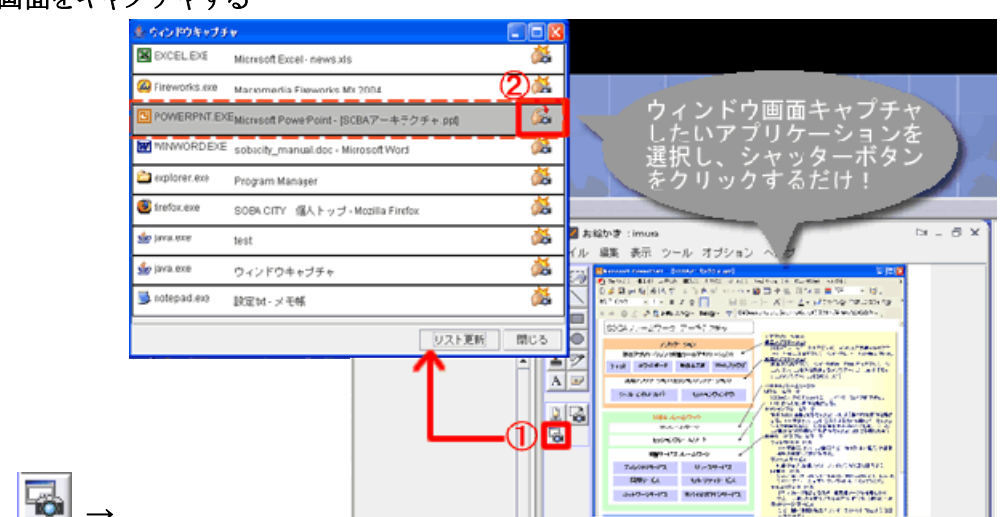
- ☐ ファイル(開く／保存／終了)
- ☐ 編集(各種操作が可能: 取り消し／再実行／切り取り／コピー／貼り付け／すべて選択／すべてコピー)
- ☐ 表示(ツールバー②③／オプションバー④／ステータスバー⑤の表示・非表示およびズームの選択が可能)
- ☐ ツール(ツールバー②③)
- ☐ オプション(オプションバー④)

①	キャンパス キャンパス上で自由に描画作成、画面を貼り付けて共有・書き込みが可能 ツールボタン 描画操作が可能 アクションボタン アクション操作が可能 オプションボタン 色やフォントの変更など描画属性の選択が可能 ステータスバー 操作不可の場合、ステータス(状況と理由)を表示 タブ タブ(ページ)の表示・追加・削除が可能
---	--

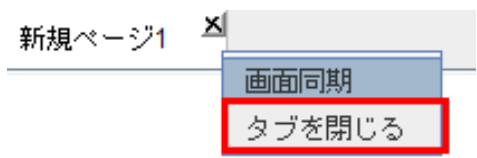
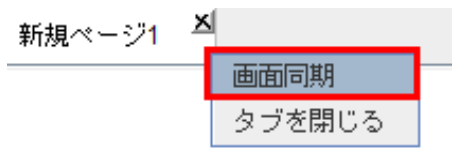
(2)描画操作 ツールボタン／ツールメニュー／右クリックから実行

a.描画を行う	ツールボタンの中から任意の描画ツールを選択(初期設定は[ペン])し、キャンパス上でマウス操作により描画を行います。 描画を行う前に、オプションボタンで色や線の太さなどを設定すると、その後の描画の属性に適用されます。
b.オブジェクトを削除する	ツールボタンの中から[消しゴム]ツールを選択し、削除したいオブジェクトをクリックするか、複数のオブジェクトを選択する場合はその選択範囲をマウスで囲むようにドラッグ(点線の矩形で表示)します。
c.オブジェクトを移動する	ツールボタンの中から[選択]ツールを選択し、移動したいオブジェクトをクリックするか複数のオブジェクトの選択範囲をドラッグして(点線の矩形で表示)、移動したい場所までドラッグします。
d.描画属性を変更する	ツールボタンの中から[選択]ツールを選択し、変更したいオブジェクトや範囲をクリックまたはドラッグして、右ボタンをクリックすると、描画属性を変更できるオプション項目がポップアップメニューで開きます。 色など変更したい項目を選択し任意に変更することができます。

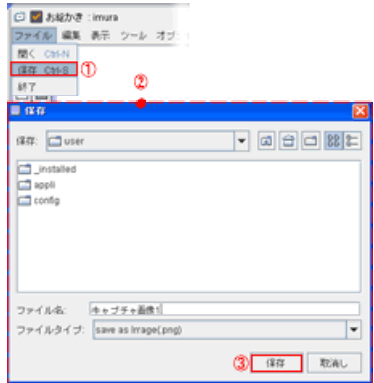
(3)アクション操作 ③アクションボタン／ツールメニュー／右クリックから実行

a.手動で範囲を選択し画面キャプチャする  ※詳細については、Memo 3 を参照	スクリーン画面の一部分を画像としてクリップし、キャンパスに貼り付けます。(貼り付けた画像オブジェクトは移動・コピーの編集作業が可能) ①[画面貼り付け]ボタンをクリックすると、キャプチャウィンドウが表示されます。 ②このウィンドウをキャプチャしたい位置まで マウスでドラッグして移動させ、ウィンドウ画面右下角をドラッグしてサイズを変更して、範囲を選択します。 ③キャプチャボタンをクリックすると、キャンパス上に選択した範囲の画像が貼り付けられます。
b.ウィンドウ画面をキャプチャする 	
Word や Excel など実行中の Windows アプリケーションの画面を、そのまま丸ごとワンクリックで自動キャプチャできます。画面キャプチャ機能をさらに使いやすく簡単にした高機能版です。画像をホワイトボードのキャンパス上に貼り付け、メンバー間で同時に閲覧・書き込みを行った後、画像ファイルとして保存もできるので、ミーティング時のホワイトボードとして便利にお使いいただけます。 ①[ウィンドウ貼り付け]ボタンをクリックすると、ウィンドウキャプチャのポップアップ画面がスクリーン画面左角に表示され、現在実行中のアプリケーションの一覧が表示されます。 ※[リスト更新]で最新の状態に更新、[閉じる]でポップアップ画面を終了します。 ②キャプチャしたいアプリケーション・ファイルを選択しクリックすると、キャンパス上にウィンドウ画面がそのまま画像として貼り付けられます。 Point! 貼り付けた画像オブジェクトは、点線の矩形で表示され、移動・コピーの編集作業が可能です。キャンパスのサイズより大きな画像が貼り付けられると、キャンパスサイズに縮小できます。	
c.画面を同期する  画面同期されると、他のメンバーにはステータスバーに赤字で同期された趣旨の文言が表示されます。	このツールを共有している他のメンバーの画面表示を、操作を行ったユーザが表示中の画面表示と同一にします。

(4)タブ操作

a.タブ(ページ)を追加する 	新規にタブ(ページ)を追加します。 ※この操作はメンバー間で同期されます。
b.タブ(ページ)を削除する 	タブ(ページ)を削除は以下の方法で可能です。 ① [削除]ボタンをクリックする ② タブの上で右クリックで表示されるポップアップメニューから[タブを閉じる]をクリックする ③ タブの上でマウスの真ん中ボタンをクリックする 但しページが 1 ページしか存在しない場合は削除できません。 ※この操作はメンバー間で同期されます。
c.画面を同期する 	該当タブを右クリックするとポップアップが表示されます。ポップアップのメニューにある[画面同期]をクリックすると、他のメンバーの画面表示を、操作を行ったユーザーが選択したタブのページと同一にします。

(5)その他の操作 メニューバーから実行

a.ファイルを保存する 	表示中のページに含まれる描画は、PNG 形式もしくはこのツール独自のベクタ形式で保存することができます。 メニュー[ファイル]ー[保存]①をクリックするとファイル保存のウィンドウ②が表示されるので、ファイルタイプを選択(Image(.png)もしくは Vector data(.vct)より)し、ファイル名を入力したら、[保存]③をクリックします。
b.ファイルを開く 	メニュー[ファイル]ー[開く]①をクリックすると、ファイル選択ウィンドウ②が表示されるので、ファイルを選択し、[開く]③をクリックすると、キャンパス上に表示されます。 保存したデータを開いて、再度作業することができます。また、その他に作成された BMP・PNG・JPEG・GIF などの画像ファイルも同様に表示させることができます。
c.描画操作を UNDO・REDO する	描画操作(描画、描画削除、描画移動、描画属性変更)は UNDO (アンドゥ:直前の操作の取り消し)ができます。メニュー[編集]ー[取り消し]で実行します。また、メニュー[編集]ー[再実行]により、UNDO した操作を REDO (リドゥ:やり直し)ができます。

d.描画をコピー・ペーストする	選択した描画をコピーし、キャンバスにペーストできます。コピーされた描画は、システムのクリップボードに画像として格納されるので、他アプリケーションからも利用が可能です。メニュー[編集]→[コピー]→[貼り付け]によって実行します。
e.画面をズーム(拡大・縮小)する	表示メニュー[ズーム]から、キャンバスの画面表示を 6 段階に切り替えることができます。表示の切り替えは、リアルタイムに適用されます (25%, 50%, 100%(初期設定), 150%, 200%, 400%の中から選択可能)

(6)描画ツールと描画属性一覧

<描画ツール>

	[選択]描画を選択するためのツール。描画移動、描画属性変更の操作時に使用します。
	[消しゴム]描画削除操作を行うためのツール。
	[ペン]フリーハンド(左クリックしたままでドラッグ)で描画を行うためのツール。
	[直線]直線を描画するためのツール。
	[矩形]矩形を描画するためのツール。
	[円]直線を描画するためのツール。
	[塗りつぶし矩形]塗りつぶし矩形を描画するためのツール。
	[塗りつぶし円]塗りつぶし円を描画するためのツール。
	[アイコン]アイコン(オプションボタンの中の[アイコン画像選択]ボタンより変更可)を貼り付けるためのツール。
	[属性コピー]キャンバス上の描画から属性を取得するためのツール。描画上でクリックするとその描画属性がキャンバスの描画属性としてセットされます。
	[テキスト]テキストを描画するためのツール。クリックした位置にテキスト入力用のウィンドウが開き、以下のいずれかの操作により入力が確定します。 ①描画ツールを変更する。 ②表示中のページを変更する。 ③キャンバス上の別の位置をクリックする。(この操作を行うと、新たにテキスト入力用のウィンドウが開かれる。) [テキスト]ツールを選択した状態で、入力が確定したテキストの上でクリックすると、入力ウィンドウが開いてテキストの編集を行うことができます。なお、右クリックすると、左図のように各種操作を行うためのメニューが表示されます。 テキスト - 元に戻す 追加 - 再実行 - テキストの切り取り - テキストのコピー - テキストの貼り付け - テキストの選択
	[付箋]機能版。それぞれ入力と確定および編集の方法については同様。 ※[テキスト]と異なる点として 2 つ、(1)背景色(初期設定は山吹色)や大きさが(右下角をドラッグで)任意に変更できること、(2) 付箋 - 元に戻す 追加 - 再実行 - テキストの切り取り - テキストのコピー - テキストの貼り付け - テキストの選択 - 背景色の変更 - アイコン入力

	入力ウィンドウの上で右クリックすると表示される各種操作を行うためのメニューが、テキスト編集時のメニューに加え、背景色の変更とアイコンの入力も可能なこと、があります。
--	--

<描画属性>

	[色選択]  あらかじめ 24 色がカラーパレットに設定されていて、左端の大きなパレットに現在選択されている色が表示されます。 このボタンで混色して任意の色を作成し、描画やテキストの色を選択することができます。(初期設定は黒)
	[透明化] 描画の色を透明・不透明かを選択できます。(初期設定は不透明)
	[線幅選択] 描画の線幅を選択できます。(1point (初期設定) 4point, 10point, 18point, 30point の 5 段階から選択可能)
	[フォント選択] テキストツール、付箋ツールのテキストのフォントを選択できます。 コンピュータにインストールされているフォントから選択可能。
	[アイコン画像選択] アイコンツール使用時のアイコンを選択できます。 約 20 種類 (各種大小サイズあり) の中から選択可能。 

チャットツール

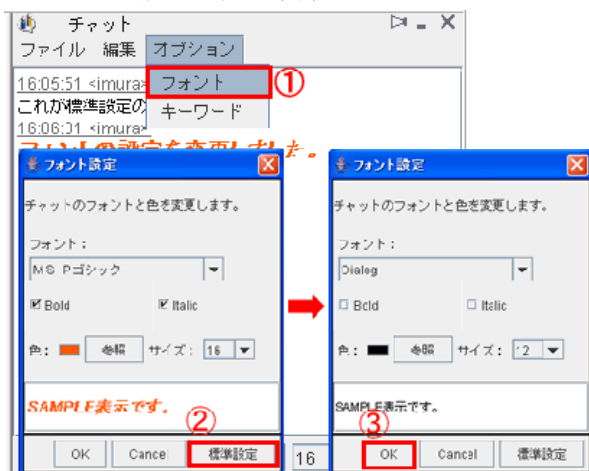
(1)画面構成

	メニューバー ☐ ファイル (ログを自動保存 / ログを保存) ☐ 編集 (切り取り / コピー / 貼り付け / 画面消去) ☐ オプション (フォント / キーワード) ①チャット表示欄 ②チャット入力欄 ③発言 ④絵文字 ⑤フォント選択 ⑥サイズ変更 ⑦太字 ⑧イタリック ⑨色
--	--

(2)基本操作

a. 文字を入力する	図中①のチャット入力欄にテキストを入力し、[Enter]キーを押すか、②[発言]ボタンをクリックすると、上のチャット表示欄に表示されます。
b. フォントの設定を変更する	図中①～⑤をクリックし、①フォントの種類／②サイズ／③太字④イタリック⑤色をそれぞれ任意に選択し、設定を変更することができます。 発言毎にその都度変更可能で、リアルタイムに適用されます。 左下図は、標準設定のフォントと変更した設定のフォントの一例です。

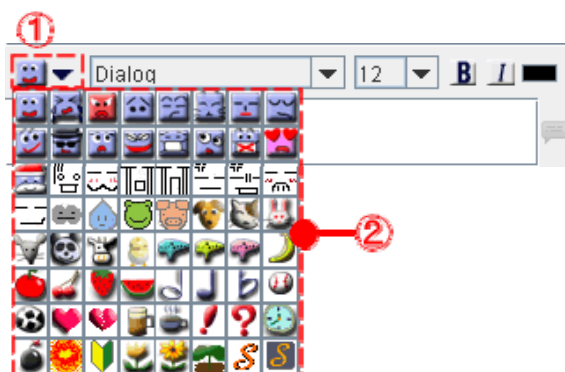
c.フォントの設定を元に戻す



変更したフォントの設定を元（標準設定）に戻すには、メニュー[オプション]—[フォント]①をクリックし、[フォント設定]のウィンドウを表示させます。

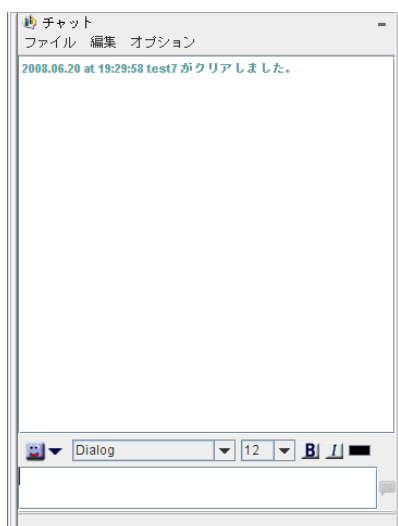
②[標準設定]をクリックし、標準設定に切り替わるので③[OK]をクリックすると、フォントの設定を元に戻すことができます。

d.絵文字を使う



図中①をクリックすると、②のウィンドウが表示され、64 種類の中から任意の絵文字が選択できます。

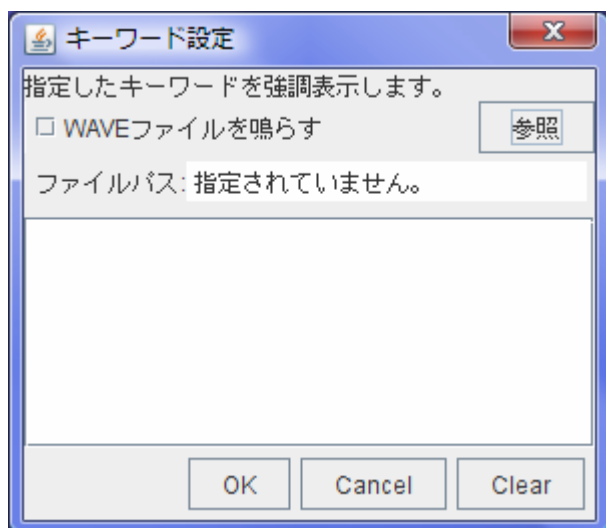
e.発言文字を削除する



メニュー[編集]から、[クリア]を選択すると、ログも含めて全ての発言内容が消去されます。この操作はセッションに参加している全てのユーザに適用されるのでご注意ください。

※自動保存機能では、随時ログを保存している為、クリアしてもログが削除できません。

f. キーワードを設定する

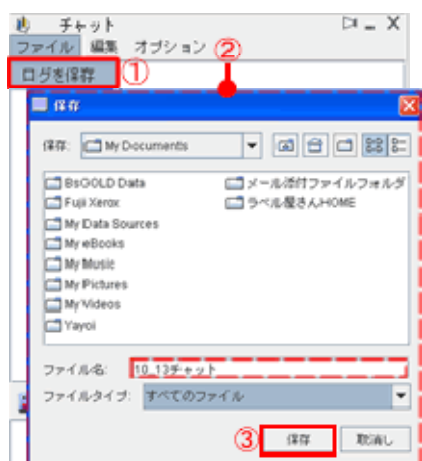


※ あらかじめキーワード(自分の名前など)を設定しておく、そのキーワードが入力された際にキーワードの表示が強調され、さらに Windows タスクバー上のセッションタイトルがオレンジ色に点滅して、キーワードが入力されたことを知らせてくれるので、とても便利です。

※ 更に WAVE ファイルを鳴らすにチェックを入れて WAVE ファイルを選択すると、キーワードが入力された際に音楽を鳴らす事ができます。

メニュー[オプション]—[キーワード]をクリックすると、キーワード設定のウィンドウが表示されます。キーワードを入力して(改行しながらいくつでも設定可能)、最後に[OK]をクリックすると、設定は完了します。

g. ログを保存する



チャットの内容は、ファイルとして保存することができます。

メニュー[ファイル]—[ログを保存]①をクリックすると、保存のウィンドウ②が表示されます。任意のファイル名を付けて[保存]③をクリックすると、ログが保存されます。(但し、フォントの色やサイズなどの属性は反映されません。)

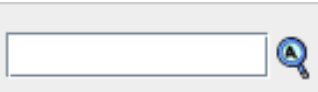
[ログを自動保存する]にチェックを入れると、Documents and Settings¥(Windows のログイン名)¥.soba¥mieruka¥home¥user 内に chatlog_日付.log というファイル名で自動的にログが保存されます。(Vista の場合は、Users¥(Windows のログイン名)¥.soba¥mieruka¥home¥user)

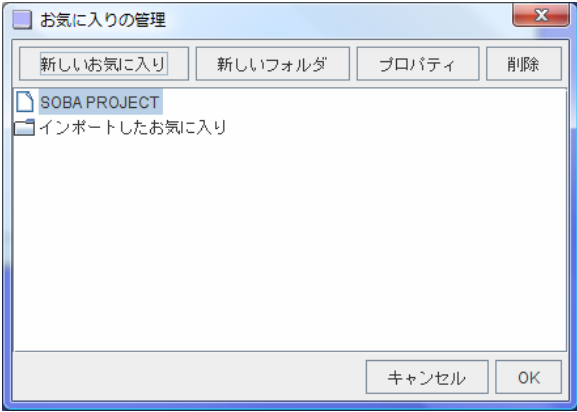
インターネットツール (WEBブラウザの共有)

(1)画面構成

	① Web ページ表示領域 ② メニューバー ③ お気に入りバー (閉じることもできます) ④ ツールバー ⑤ ステータスバー
---	---

(2)基本操作

a.WEB ページを表示する	アドレスバーに URL を直接入力し Enter キーを入力すると、その WEB ページが表示されます。
b.ページを移動する 	前のページへ戻るときは  [戻る]、次のページに進むときは  [進む] ボタンをクリックします。または、メニュー [移動] から [戻る]・[進む] を使います。
c.ページを更新する 	[更新] ボタンをクリックすると、表示内容を最新の状態に更新します。
d.操作を中止する 	ページを開く動作中に、[中止] ボタンをクリックするとページの移動や更新を中止します。
e.検索エンジンを利用する 	検索バーに検索したい文字を入力し Enter キーを入力するかボタンをクリックすると、google の検索エンジンを利用した検索結果が表示されます。
f.お気に入りを利用する ※メニュー [お気に入り] から、登録されたページへの移動やお気に入りのインポートや登録・管理等ができます。	• お気に入りからページに移動する お気に入りから登録済みのページへ簡単に移動できます。なお、初期設定では、SOBA PROJECT のみ登録されています。 • お気に入りに追加する

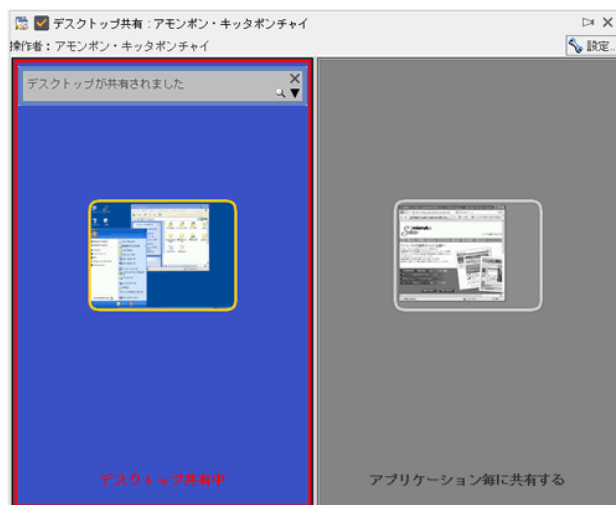
	左図のように、気に入ったページは[現在のページを追加]でお気に入りに登録できます。 •お気に入りをインポートする また、[お気に入りをインポート]で、簡単にお使いの Internet Explorer で登録されたお気に入りがインポートされ、すぐ利用できます。
	•お気に入りを管理する [お気に入りの管理]を開くと、左図のようなウィンドウが表示され、以下の編集を行えます。 [新しいフォルダ]フォルダを新規に作成します。 [新しいお気に入り]名前と URL を入力して、お気に入りを新規に作成します。 [削除]登録済みのお気に入りやフォルダを削除します。削除前に、確認のダイアログが表示されます。 [プロパティ]登録済みのお気に入りやフォルダ名を表示し、名前・URL を変更することができます。
	•お気に入りバーを表示する ブラウザの左端にあるスライダーをクリックすると、お気に入りを常に表示させることができます。
f.同期を取らない／同期時間を変更する 	•共有モードと非共有モードを切り替える 初期設定では、WEB ページの内容は他のメンバーと同期をとる[共有モード]になっていますが、以下のいずれかの操作で同期を取らない[非共有モード]にすることもできます。 ①S マークをクリックする。(※クリックする毎に、共有⇄非共有のモードが切り替わります。 共有モード  ⇄  非共有モード) ②メニュー[共有]の[共有モード]でチェックを外す。 ※なお、ページの移動は同期しますが、各自のページ スクロールは同期しません。

デスクトップ共有ツール

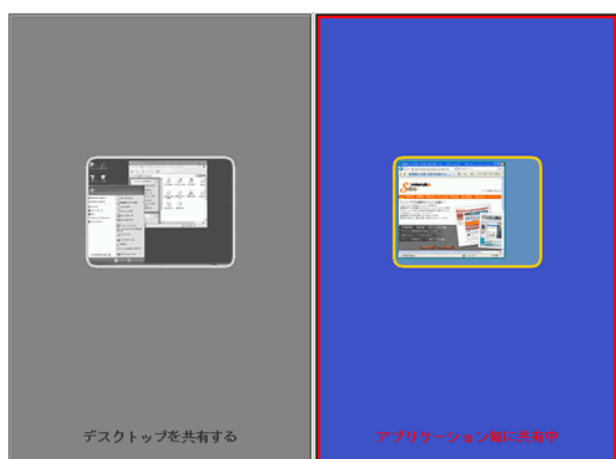
(1)画面構成

①サーバ側画面

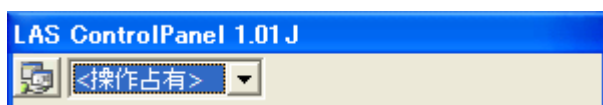
◆デスクトップ共有モード



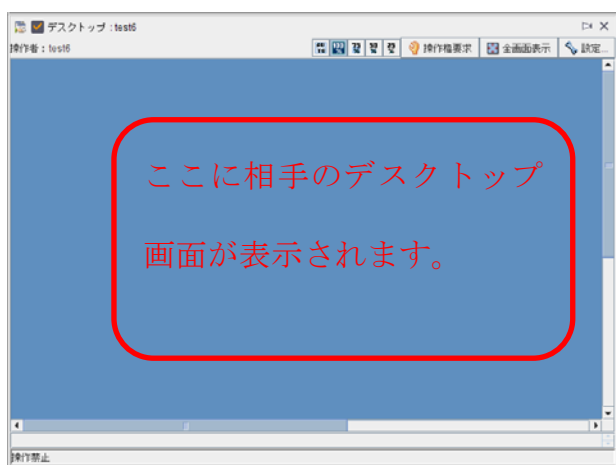
◆アプリケーション共有モード



◆LAS ControlPanel



②クライアント側画面



デスクトップ共有は、ツールを起動した側のデスクトップを共有します。ここではツールを起動した側をサーバ、操作を要求したり操作をする側をクライアントと呼びます。

①デスクトップ共有ツールをセッションに投入すると、投入したユーザのデスクトップがセッション参加者に表示されます。

◆[アプリケーション毎に共有する]を選択すると、デスクトップ全体ではなく、個々のアプリケーション単位で共有することも可能です。

◆デスクトップ共有ツールを起動させると、LAS ControlPanelが表示されます。

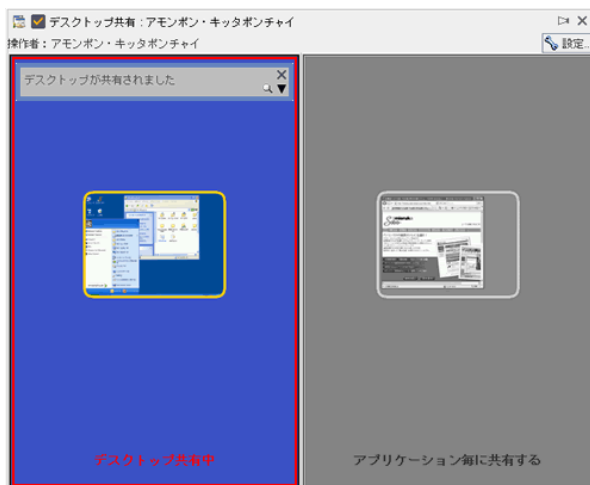
このパネルは、操作権を要求したユーザに操作権を与えたりする為に利用します。

②クライアント側では、デスクトップを共有したユーザの画面が表示されます。アプリケーション毎に共有している場合は、該当のアプリケーションのみ表示されます。

※SOBA mieruka のアプリ共有ツールは、自分の共有したいアプリケーションだけを選択して共有します。「お絵かき」「インターネット」ツールとは異なり、同時に編集作業を行う際に考えられる混乱を避けるため、あえて操作権の要請・許可というプロセスを入れ、操作占有をひとりに設定しています。

(2)基本操作

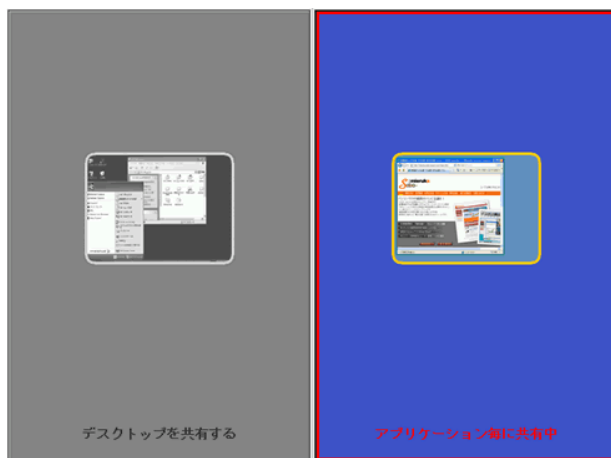
a. (サーバ側) デスクトップを共有する



デスクトップ共有ツールをセッションに投入した時点で、投入したユーザのデスクトップがセッション参加者に表示されます。

ツール上の表示は、[デスクトップ共有中]と表示されています

b. (サーバ側) アプリケーション毎に共有する



デスクトップ全てを共有するのではなく、アプリケーション毎に共有を設定する事も可能です。

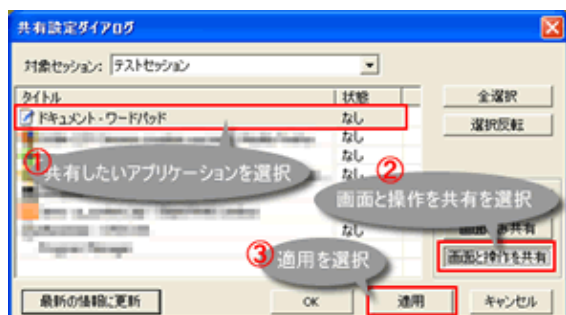
ツール上の[アプリケーション毎に共有する]をクリックします。

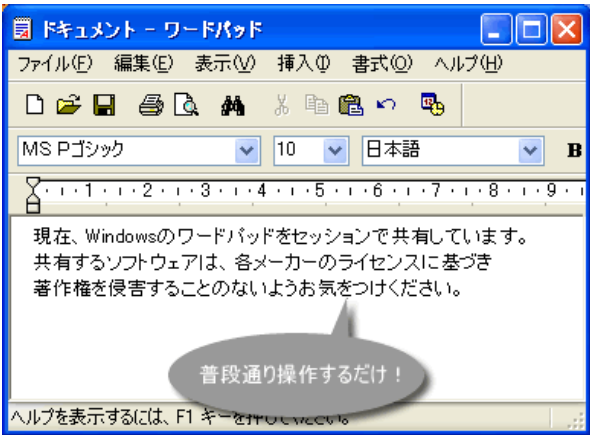
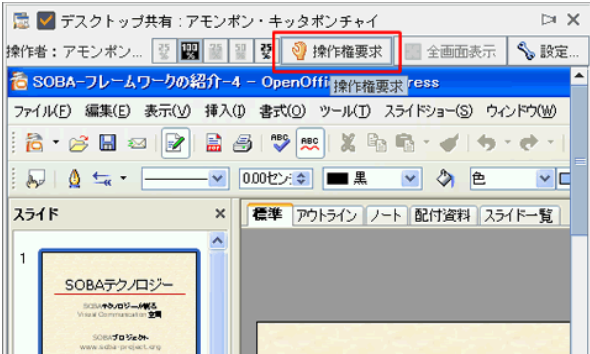
クリックした時点でデスクトップ共有は解除されます。

クリックすると、左下図のような「共通設定ダイアログ」が表示されるので、①共有したいアプリケーションを選択します。

Windows で実行されているアプリケーションが表示されるので、共有したいアプリケーションをあらかじめ立ち上げておきましょう。

共有するには、②[画面と操作を共有]選択③[OK]をクリックします。

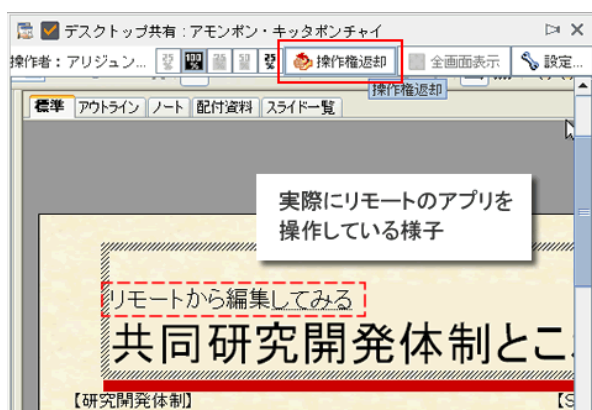


c. (クライアント側) 画面の表示サイズを変える 	クライアント側では、表示する倍率を変更できます。 5 サイズに切り替えられ、ボタンをクリックする度に、変更はリアルタイムに適用されます。Auto (画面サイズに合わせて表示されます) 100% (操作者の操作画面が等倍で表示) 75% (3/4 倍で表示)・50% (1/2 倍で表示)・25% (1/4 倍で表示)
d. (クライアント側) アプリケーションを操作する 	クライアント側の操作者は、共有したアプリケーションを普段通りに操作するだけです。セッションで共有しても特にウィンドウが表示されるわけではなく、画面上見た目の変化はありません。 Point! デスクトップ共有では全てが表示されるので問題ありませんが、アプリケーション毎に共有している場合、共有しているアプリケーションの上に何か別のアプリケーションが重なっていると、他のメンバー側にはその重なった部分は表示されなくなりますので、サーバ側は共有しているアプリケーションは常に一番手前に持ってきて操作しましょう。
e. (クライアント側) アプリケーションの操作を要求する 	クライアント側の画面では、デスクトップや共有されたアプリケーションは、左図のようにツールウィンドウの中に表示されます。 メンバーがデスクトップやアプリケーションを操作したい場合、操作者に操作権を要求し、許可を得る必要があります。操作権を得るには[操作権要求]をクリックしましょう。

f. (サーバ側) アプリケーションの操作を許可する



メンバーが操作権を要求すると、操作者のコントロールパネルにその要求者の名前とタイムゲージが表示されます。操作者が要求者名をクリックすることで、アプリケーションの操作権はそのメンバーに移動します。
※タイムゲージが切れると、操作件要求は無かったこととなります

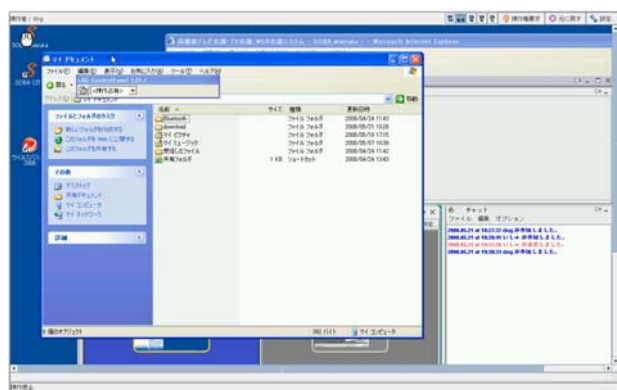


操作権を得たメンバーは、操作者代行となつてまるで自分の画面で作業しているかのように、デスクトップや共有されたアプリケーションを自由に操作することができます。

[操作権返却]をクリックすると、操作権は元の操作者に戻ります。

ただし、操作者には特権が設けられており、操作者代行がこのような操作をしなくとも、画面をクリックすることで操作権を強制的に取り戻すことができます。

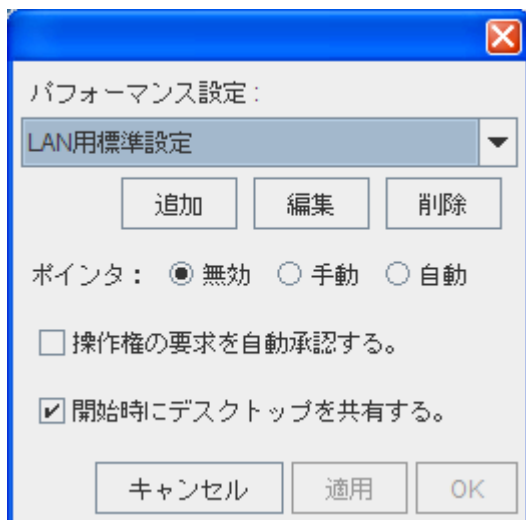
g. (メンバー) 全画面表示で表示する



メンバーは  全画面表示 [全画面表示] ボタンを押すと、デスクトップ共有の画面を全画面で表示することができます。全画面表示にして、省スペースなフレームに変更すると、あたかも自分のデスクトップと錯覚するぐらいの臨場感を得られます。

 元に戻す [元に戻す] ボタンを押すと、元の枠の中に表示されます。

g. (サーバー側) 設定を変更する



[設定]をクリックすると、設定変更用のダイアログが表示されます。

□ パフォーマンス設定

アプリケーション共有では、操作者の帯域にあわせてパフォーマンス設定の変更ができます。操作者の帯域が低くネットワークが不安定な場合、この設定を正しくするとパフォーマンスが向上することがあります。

□ ポインタ



ポインタを有効にすると、マウスのアイコンが表示され、操作者やメンバーが支持を行いやすくなります。

無効:ポインタが表示されません

手動:操作権を持つユーザーが明示的にマウスポインタを動かします。

自動:メンバーのマウスポインタにあわせて自動的に移動します。

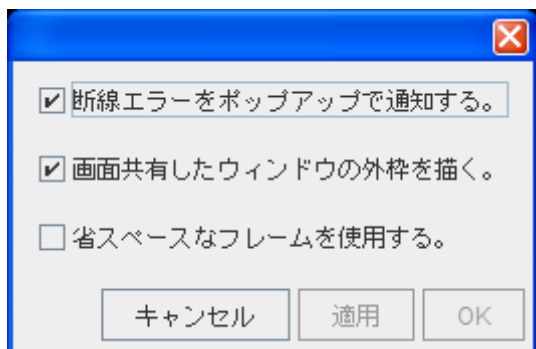
□ 操作権の要求を自動承認する。

初期設定では、メンバーが出した操作要求が操作者に許可されるまで操作権が移動することはありませんが、自動的に操作権を承認させることができます。

□ 開始時にデスクトップを共有する。

初期設定では、ツールの開始時にデスクトップが共有されますが、アプリケーションを選択しない限り共有されないようにもできます。

h. (クライアント側) 設定を変更する



[設定]をクリックすると、設定変更用のダイアログが表示されます。

□ 断線エラーをポップアップで通知する。

アプリケーション共有中に回線が不安定になって切断された場合、そのことをポップアップで表示させることができます。

□ 画面共有したウィンドウの外枠を描く。

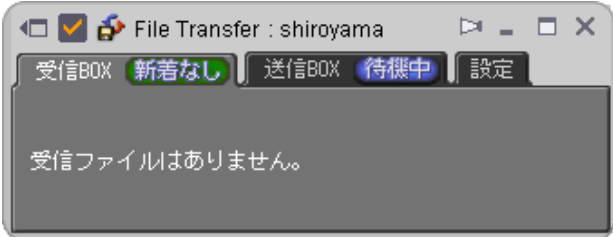
共有したアプリケーションウィンドウの外枠を表示するかどうかを設定することができます。

□ 省スペースなフレームを使用する。

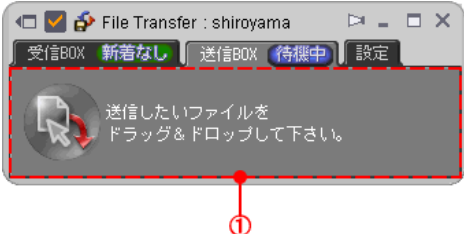
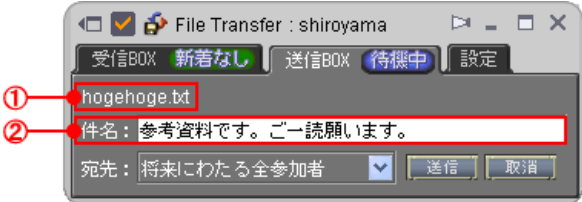
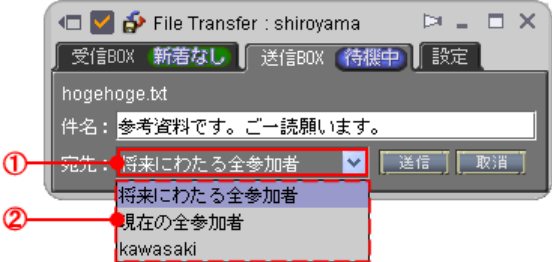
アプリ共有ツールのウィンドウのフレームをシンプルにし、表示画面を少し大きくとることができます

ファイル転送ツール

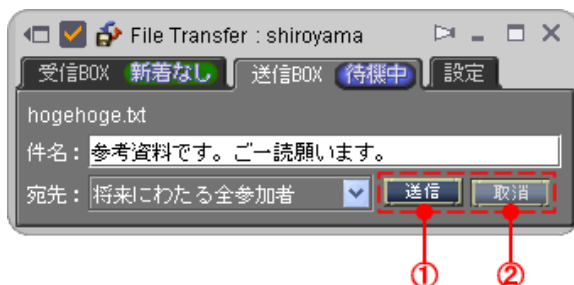
(1)画面構成

	[受信 BOX][送信 BOX][設定]の3つのタブで構成され、それぞれ切り替えて使用します。 ドラッグ＆ドロップの簡単操作で、ファイルの送信、受信ファイルの保存ができます。
---	---

(2)ファイルの送信 [送信 BOX]タブから実行

a.ファイルを選択する 	中央の[送信 BOX]タブに切り替えたら、①の部分に送信したいファイルをドラッグ＆ドロップします。
b.件名を入力する 	①には送信するファイル名が表示されます。②の[件名]に、簡潔に用件を入力します。
c.宛先を指定する 	①をクリックすると、②のようなリストが表示されるので、ファイルの転送先を選択します。宛先は下記の通り任意に選択できます。 <将来にわたる全参加者> 今後セッションに入ってくる人を含め全員に送信する場合 <現在の全参加者> 現在セッションに参加している人全員に送信する場合 <ユーザ指定> メンバーの中から指定したユーザのみに送信する場合

d. ファイルを送信する



①[送信]ボタンをクリックすると、ファイルは選択した宛先に送信されます。

②[取消]ボタンをクリックすると、今までの操作は取り消され、送信 BOX 最初の画面(前項 a.)に戻ります。



送信者の送信後の画面です。

送信 BOX のファイルリストには、ファイル名・宛先・件名・送信時刻が表示されます。

e. 複数のファイルを同時に送信する



複数のファイルを送信するときは、送信したいファイルを選択する際(前項 a.で説明)に、複数のファイルを同時にドラッグ&ドロップします。または、送信 BOX のファイルリストに、ひとつひとつドラッグ&ドロップで追加していきます。

設定後、件名を入力し、宛先を指定して送信します。

f. ファイルの配信を停止する



送信者の送信後の画面です。

宛先を[将来にわたる全参加者]に設定したとき、それ以上ファイルの配信をやめたいときは、リストの該当ファイルを右クリックし [配布停止]を選択します。

(3)ファイルの受信 [受信 BOX]タブから実行

a.ファイルを受信する



受信者側の受信中の画面です。

[受信 BOX]のタブが、[受信中]の表示になります。ファイルリストの左端の項目「!」には、ダウンロードの進行度合いが表示されます。

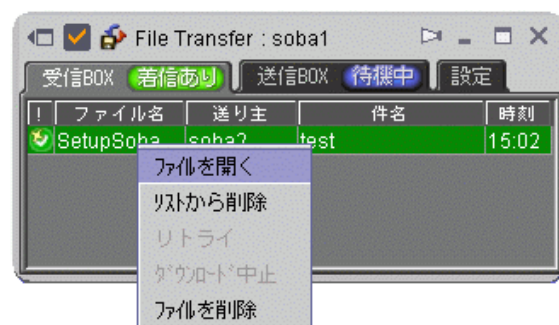
※受信を停止したいときは 後項 b. を参照



受信完了後の画面です。

タブが[着信あり]、[!]にはダウンロード完了のマークが表示されます。

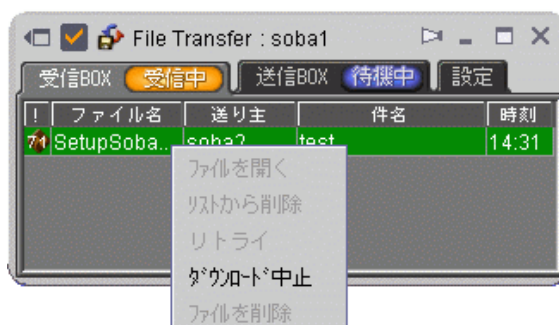
受信 BOX のファイルリストには、ファイル名・送り主・件名・着信時刻が表示されます。



受信したファイルは、実行できるアプリケーションがあれば、ファイル名をクリックまたは右クリックして[ファイルを開く]で、すぐに開いて見ることができます。

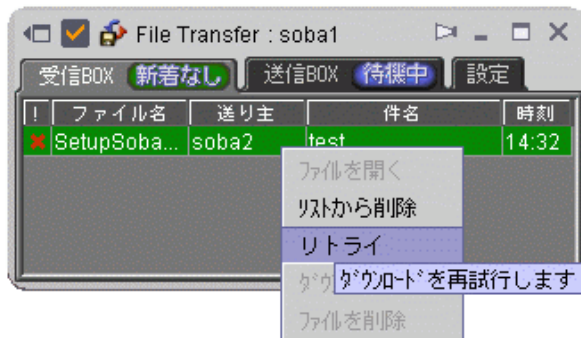
デスクトップ上などに、ファイル名をクリックしてドラッグ&ドロップすると、ファイルを保存することもできます。

b.ファイルの受信を中止する



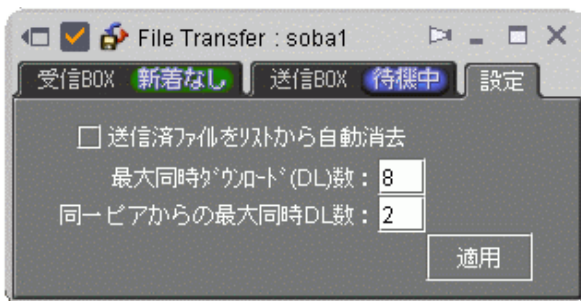
ファイルを受信中に、ファイル名を右クリックし、[ダウンロードを中止]を選択すると、ファイルの受信を停止することができます。保留状態となり、[!]は中止を表す×マーク表示になります。

c.ファイルの受信を再開する



ダウンロード中止後、再開したいときには、ファイル名を右クリックし、[リトライ]を選択すると、ファイルのダウンロードを再開することができます。

(4)設定方法 [設定]タブから実行



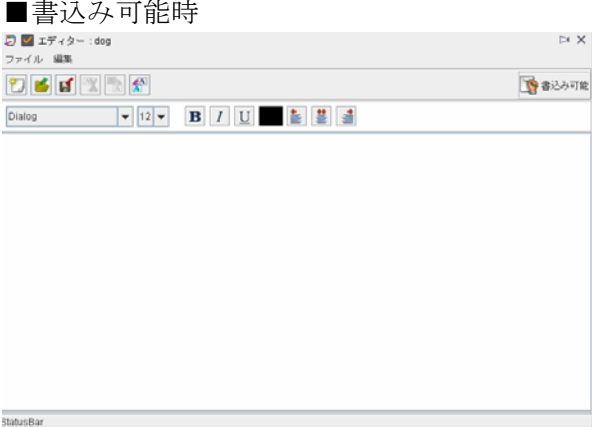
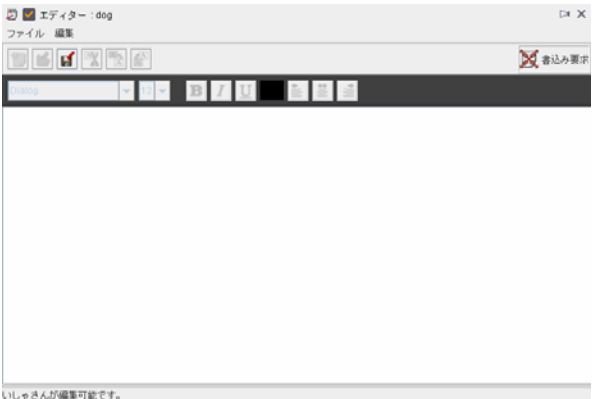
[設定]タブでは、以下の設定を行うことができます。

- ①[送信済ファイルをリストから自動消去]にチェックを入れると、[送信]タブのファイルリストから、送信済みファイルを自動除去します。
- ②最大同時ダウンロード(DL)数
(初期設定 8)の変更ができます
- ③同一ピアからの最大同時(DL)数
(初期設定 2)の変更ができます。

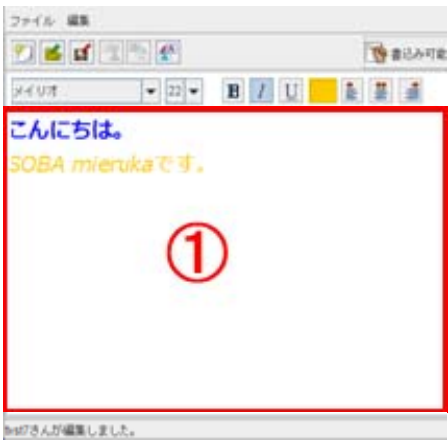
最後に[適用]をクリックすると、設定は有効になります。

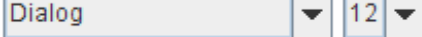
エディターツール

(1)画面構成

 ■書き込み可能時	メニューバー ☐ ファイル (新規／開く／保存) ☐ 編集 (切り取り／コピー／貼り付け) 書き込み可能な時は、全体が白色表示になり、全てのボタンが押せるようになります。 書き込み不可の時は、全体が灰色表示になり、編集作業とは無関係の一部のボタンのみ押せるようになります。
書き込み不可時 	アイコン ☐ 新規 ☐ 開く ☐ 保存 ☐ 切り取り ☐ コピー ☐ 貼り付け ☐ 書き込み可能／書き込み要求 ☐ フォント変更 ☐ フォントサイズ変更 ☐ 太字 ☐ 斜体 ☐ 下線 ☐ 文字色変更 ☐ 左寄せ ☐ 真ん中寄せ ☐ 右寄せ

(2)基本操作

a.文字を入力する 	図中①のエディター入力欄にテキストを入力すると、入力欄に表示された内容がそのまま参加メンバーに共有されます。 日本語を入力した場合は、確定されるまで参加メンバーには反映されません。 また一度入力された内容は、自由に編集・削除する事ができます。もちろん、編集・削除された内容も参加メンバー全員に反映されます。
--	--

b.新規作成する  新規作成	新規作成します。現在表示されている内容は全て消去してから、新たに白紙のページを作成します。 ※書込み権限が無い場合は選択できません。
c.ファイルを開く  ファイルを開く	ファイルを読み込みます。ファイル選択ウィンドウが表示されますので、リッチテキストファイルを選択して下さい。 またリッチテキストファイルのドラック&ドロップによる読み込みにも対応しています。 リッチテキスト以外のファイルの読み込みはサポートしていません。 ※書込み権限が無い場合は選択できません。
d.ファイルを保存する  名前を付けて保存	現在のドキュメントの内容をリッチテキスト形式で保存します。 保存したファイルは、ワードパッドや MS Word で閲覧・編集できます。
e.文字を編集する 	それぞれ、切り取り・コピー・貼り付けを行います。テキスト入力エリア上で右クリックでも同様の操作が可能です。
f.書込み権限を得る  書込み可能 /  書込み要求	[書込み要求]になっている時は、グレー表示になりドキュメントを編集する事ができません。ドキュメントの編集を行いたい時は[書込み要求]ボタンをクリックして書込み権限を得ます。書込み権限がある時、エディターは白表示になります。
g.フォントを変更する  フォント変更	フォントの種類とフォントサイズを変更できます。
h.文字を装飾する  太字、斜体、下線	それぞれのボタンを押すと太字、斜体、下線で文字が記入できるようになります。
i.レイアウトを変更する  左揃え、中央揃え、右揃え	指定した行を左揃え、中央揃え、右揃えに変更できます。 ※但し、この情報のみ保存できません。
j.文字の色を変更する 	合計 10 色の中から文字の色を選択することができます。

9. ログアウト

ログアウトすると、クライアントアプリケーションも自動的に終了します。



会員ページ左端メニューの[ログアウト]ボタンをクリックします。

次の画面が表示され、SOBA mieruka のトップページに戻れます。



10. その他

ユーザ登録情報の変更

左端メニューの情報[ユーザ登録情報]から、ユーザ登録時に登録した情報を表示し、編集することができます。



①[基本情報を変更] 基本情報を編集したい場合は、このボタンで基本情報変更画面に移動します。

②[任意情報を変更] 任意情報を編集したい場合は、このボタンで任意情報変更画面に移動します。

ログイン名・パスワードを忘れたとき

The image shows a web interface for SOBA mieruka. On the left is a login box for 'ユーザ会員の方' (Users) with fields for 'ログイン名' (Username) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button. Below this is a red-bordered box containing the text 'ログイン名、パスワードをお忘れの方はこちらよりお問い合わせください' and a button labeled 'ログイン名お問い合わせ'. On the right is a larger box titled 'ログイン名お問い合わせ' (Forgot Username). It contains instructions: '既にユーザ登録されているユーザ会員の方にご利用いただけます。ユーザ登録時に選択した秘密の質問とその答え、登録したメールアドレスを入力し、[送信]ボタンをクリックしてください。入力いただいた内容が登録内容と一致した場合は、ログイン名とパスワードがそのメールアドレスに送信されます。' Below the instructions is a form with three fields: '秘密の質問' (Secret Question) with a dropdown menu showing '質問を選択して下さい', '秘密の答え' (Secret Answer), and 'メールアドレス' (Email Address). At the bottom of this form are two buttons: '送信' (Send) and 'キャンセル' (Cancel).

ログイン名・パスワードを忘れたときは、SOBA mieruka ログインページの左端メニューから[ログイン名のお問い合わせ]ボタンをクリックします。

ログイン名お問い合わせフォームに、ユーザ登録時の秘密の質問・答え・メールアドレスを入力し、[送信]ボタンをクリックします。ログイン名とパスワード情報のメールが届きますので、そちらでご確認いただけます。

SOBA mierukaクライアントの起動と終了について

SOBA mieruka クライアントが起動中かどうかは、Windows のタスクトレイ(画面右下)の中に **S** マークが表示されていることで認識できます。

S 起動は、SOBA mieruka ログイン時またはセッション作成・参加時に自動的に行われます。

サイトからログアウトしてクライアントソフトが終了しているに関わらず、**S** がタスクトレイに表示されている場合は、**S** マークを右クリックして強制終了する必要があります。